

ご加入の皆さま

保健事業の見直しについて

朝日新聞健康保険組合

現在多くの健保組合で、高齢者医療費への納付金の増大により、財政が悪化しています。当組合も加入者の減少等により保険料の収入が減るなかで21年度から3年連続で赤字を計上しており、24年度から健康保険料率を改定しますが、保険料の増額をおさえて皆さまの負担をできるだけ軽減するため、これまで実施してきた保健事業の内容を以下のとおり見直します。

1. 保養所(熱海・嵐山) 閉鎖

続く財政赤字のなか将来にわたり運営を継続していくことは困難と判断し、熱海、嵐山保養所を閉鎖します。

熱海保養所 … 2025年3月末 閉鎖

嵐山保養所 … 2024年3月末 閉鎖

これにより、誠に残念ではありますが当組合による保養所事業は24年度をもって全廃となります。長年にわたり大変多くの皆さまにご利用いただきましたことを、心より御礼申し上げます。閉鎖まで1年余りとなりますが最後の機会にぜひ、熱海保養所へ足をお運びいただければ幸いです！

2. フィットネスルーム 閉鎖

フィットネスルームについても、財政赤字のなか将来にわたり運営を継続していくことは困難と判断し、東京本社内のフィットネスルームを閉鎖、東京および大阪本社で実施している職場体操を廃止します。

2024年3月末をもって

フィットネスルーム閉鎖（東京本社）

職場体操廃止（東京・大阪本社）

誠に残念ではありますが、長年にわたり多くの皆さまにご利用、ご参加いただきましたことを、心より御礼申し上げます。

職場体操はなくなりますが、今後は「[ヘルスアップムービー](#)」をご覧ください、各自でストレッチに取り組んでください！（ID: healthy パスワード: kenko208）

また、[全国エリアスポーツ施設](#)（セントラルスポーツ・コナミスポーツ・スポーツクラブルネサンス）や[契約スポーツ施設](#)（朝日スポーツクラブ）もご利用ください。有料とはなりますが健保組合や共済会の補助額がありますので、ぜひご利用ください！

3. 人間ドック自己負担導入

これまで原則無料で受診いただいていたのですが、**2024年4月1日の受診分から原則3,000円**の自己負担をお願いすることになります（費用補助の上限を超える一部機関では、上限超過額も自己負担となります）。

対象：40歳以上（年度内での到達年齢）の被保険者本人・扶養家族（年度中に1回）

※40歳以上の女性は婦人科検診もセットに含まれるコースでドックを受診してください

負担金が発生してしまうとはいえ3,000円という額は、多くの健保組合と比べてもだいぶおトクですので、体内チェックのバロメーターとして毎年積極的にご利用ください！

4. からだところの健康相談 外部窓口の廃止

これまで開設してきた「からだところの健康相談」（㈱保健同人フロンティアとの契約）は、**2024年3月末をもって廃止**します。相談事業については、各本支社の健康相談室にて継続いたしますので、ご利用ください。

また、厚労省が開設する、働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「[こころの耳](#)」もあわせてご利用ください。「ご家族の方へ」や「部下を持つ方へ」など、メンタルヘルスに関する情報が幅広く掲載されています。

5. 郵送大腸がん検診の廃止

30代の被保険者・被扶養者を対象に実施しておりました**郵送検診（便潜血検査）**を、**2023年度をもって廃止**します。ご利用いただいた皆さま、ありがとうございました。

ひっ迫した財政状況のなかご不便をお願いすることになりますが、当組合の収支改善のためにご理解いただけますよう、どうぞよろしく願いいたします。

以上